

別表第 1（第 3 条関係）

分 類	品 名
呼吸循環管理用資器材	ポケットマスク バックバルブマスク
創傷等保護用資器材	三角巾 包帯 ガーゼ ばんそうこう タオル
保温・搬送用資器材	担架 まくら 敷物 保温用毛布
消毒用資器材（車両・資器材）	噴霧消毒器 各種消毒薬
その他の資器材	はさみ ピンセット 手袋 マスク 膿盆 汚物入れ 体温計 A E D（積載は任意とする。）

別表第 2（第 3 条関係）

分 類	品 名
呼吸循環管理用資器材	ポケットマスク バックバルブマスク（積載は任意とする。）
創傷等保護用資器材	三角巾 包帯 ガーゼ ばんそうこう タオル
保温・搬送用資器材	担架 まくら（積載は任意とする。） 敷物（積載は任意とする。） 保温用毛布
消毒用資器材（車両・資器材）	噴霧消毒器 各種消毒薬
その他の資器材	はさみ ピンセット（積載は任意とする。） 手袋 マスク 膿盆 汚物入れ 体温計 A E D（積載は任意とする。）

別表第3（第4条関係）

乗 務 員 資 格 講 習

科 目	時 間 数	効果測定配点数
総論	1 時 間	
体位管理要領	2 時 間	
搬送法	2 時 間	
消防機関との連携要領	2 時 間	筆 記 40 点
車両資器材等消毒 及び感染防止要領	2 時 間	
観察要領及び応急処置	13 時 間	実 技 60 点
効果測定	2 時 間	
合 計	24 時 間	100 点 得点が 80 点以上の者を 合格とする。

備考

- 1 各科目の1時間は、45分とする。
- 2 講師は、次の各号のいずれかに該当する者をもって充てる。
 - (1) 救急隊長として3年以上の実務経験を有する者
 - (2) 消防大学校の救急科課程を修了した者
 - (3) 消防学校の救急科課程の教官として2年以上の経験を有する者
 - (4) そのほか、消防長が適任であると認める者

別表第 4（第 4 条関係）

乗 務 員 資 格 講 習

科 目	時 間 数	効果測定配点数
総論	1 時 間	
体位管理要領	1 時 間	
搬送法	1 時 間	
消防機関との連携要領	2 時 間	筆 記 40 点
車両資器材等消毒 及び感染防止要領	1 時 間	
観察要領及び応急処置	9 時 間	実 技 60 点
効果測定	1 時 間	
合 計	16 時 間	100 点 得点が 80 点以上の者を 合格とする。

備考

- 1 各科目の 1 時間は、4 5 分とする。
- 2 講師は、次の各号のいずれかに該当する者をもって充てる。
 - （1） 救急隊長として 3 年以上の実務経験を有する者
 - （2） 消防大学校の救急科課程を修了した者
 - （3） 消防学校の救急科課程の教官として 2 年以上の経験を有する者
 - （4） そのほか、消防長が適任であると認める者

別表第 5（第 4 条関係）

乗 務 員 資 格 定 期 講 習

科 目	時 間 数
体位管理要領	1 時 間
観察要領及び応急処置	2 時 間
合 計	3 時 間

備考

- 1 各科目の 1 時間は、4 5 分とする。
- 2 講師は、次の各号のいずれかに該当する者をもって充てる。
 - （1） 救急隊長として 3 年以上の実務経験を有する者
 - （2） 消防大学校の救急科課程を修了した者
 - （3） 消防学校の救急科課程の教官として 2 年以上の経験を有する者
 - （4） そのほか、消防長が適任であると認める者